

早稲田(社会科学) 明治(政治経済)
中央(経済) 武蔵(経済) 獨協(経済)など合格



成川広貴 松山高校卒

センター試験前日。成川は早稲田大学の過去問に取り組んでいた。どの受験生もセンター試験の過去問に取り組んでいるはずだが彼はセンター試験を考えずに第一志望の早稲田大学の問題と戦っていた。。。。。。。

彼が浪人時に東進を選んだのは高校の友人が東進で勉強して結果、中央大学、武蔵、獨協に受かったからだ。その友人とはよく勉強の話をしていたという。ただ成川は高校時代塾通いはせず、家で勉強していた。一般入試では明治、武蔵、駒澤を受験するも全敗。その後すぐ、友人が中央大学に受かったのを知った。成川はその彼が通っていた東進にすぐに見学に行った。

説明を聞くと指導や合格実績がいい！と思い他の予備校に見学にいかずに手続きをした。

成川は毎日朝 9 時に登校、夜 10 時まで勉強、日曜日もすべて登校した。(4 月の段階で明治大学から早稲田大学に志望を変えた。)

8月中にセンター過去問で英語は160点前後、日本史は80点前後をコンスタントにとれるようになった。しかし現代文は50点前後でストップ。受講が終わっても伸び悩んでいたことがショックだった。9月、担任と一緒に現代文を解いた。

「成川くんは文章の理解が足りないのと、選択肢チェックが弱いと思うよ。途中で本文も選択肢も諦めモードになってるでしょ？」

担任の言っていることは当たっていた。成川は何をすればできるようになるか聞き、担任から中学校・高校の国語教科書・新聞要約・受講したテキストをすべて要約するように言われる。もうやるしかないなと思い、すべて実行した。(これは英語にも応用された)

11月中にセンター過去問で90点前後を何年度もたたき出し明治大学や中央大学の過去問でも合格点以上を出した。早稲田(文・社・人科)は10年やるもまだ届かず。12月、1月とセンター対策はゼロといった大胆な作戦を担任と決め、早稲田の過去問のみに再チャレンジ・・・・・・。

センター前日夜8時。今大学生1年生である友人からラインが届く。

“1年間、色々あったと思うけど成川ならきっと大丈夫だから自信もって！明日はセンター、その2週間後から私大入試。がんばれ！入試終わったら遊びいこう”

何度もそのラインを見る。絶対早稲田に受かるんだ！！いい報告をあいつにするんだ！

センター試験終了後、すぐ成川は早稲田の過去問3学部3周目に挑戦。

2月、受験のない日には欠かさず校舎で勉強、いくつもの大学合格を校舎で担任とPCで見た。

そして—

早稲田合格発表日。成川は両親と担任、1年間見守ってくれた友人に早稲田大学合格を伝えた。